

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ニホンダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) カワノゼミナール
日本大学	商学部	川野ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームコグレ	フリガナ) オオトシキ	5	無
チームこぐれ	太田 駿輝		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
レーザーポインター

研究テーマ (発表タイトル)
農作物直売所の改革～直売所の Next Stage～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

研究目的は、研究対象にした農産物直売所「こぐれ村」の販売高倍増に取り組み、その成果を生み出した施策を直売所の新モデルとして全国に提言することである。

2016年4月1日から施行された改正農協法に「農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」と記載されていた。しかし、農家所得に関連性が高い、農産物直売所の成長が鈍化していることを知った。そこで、JA 東京あおばのご協力をいただき、管内の農産物直売所「こぐれ村」の販売高増加に取り組むことに決定し、「こぐれ村」で成果を生み出した施策で農産物直売所の新モデルを全国に提言することで、全国の農産物直売所の成長を促すことができると考えた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

2015年8月28日、改正農協法、改正農業委員会法及び改正農地法が参議院本会議で可決、成立し、翌年の2016年4月1日から施行された。そして改正農協法の事業運営原則に「農業所得の増大に向けた最大限の配慮」と明記されたことにより、JAは農家所得の増大に向けての取り組みを開始した。その中の1つとしてあげられるのが農産物直売所である。農産

物直売所とは、地元の農産物を販売する施設である。直売所の利用年齢層は60代以上が半数を占めている。また農産物の鮮度が高い、価格が低い、味が良いなどの特長が備わっている。現在は、JAが運営主体である農産物直売所（JAファーマーズマーケット）は全国に約1700店点在している。

3. 研究テーマの課題

全国の農産物直売所は、新鮮な農産物に頼っており、大きな変化がないことから若い新規顧客が少ないことが課題としてあがった。そして、私たちの研究対象である農産物直売所「こぐれ村」の課題として、売り場がつまらない、店の存在が分かりづらい、5Sができていない、午後になると荷がない、投資ができないの5点があがった。このことより、こぐれ村は客数と客単価の成長が鈍化している。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

農産物直売所の成長が鈍化していることから、研究対象である農産物直売所「こぐれ村」で成果を生み出した施策をもとに、直売所の新モデルを構築する。我々が全国の農産物直売所に提言する新モデルは「直買所」である。いままで生産者が自身の農産物を売り出す場であった「直売所」から、消費者が楽しく買い物ができる場である「直買所」へ進化させる。すなわち生産者のための直売所から消費者のための直買所に進化したといえる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

直売所改革計画を「こぐれ村、変わります」と設定し、1年目は1stStepとして主に客単価の増加に取り組み、2年目は2ndStepとして1stStepの発展・継続をするとともに、客数の増加に取り組む。1stStepは6個の施策に取り組み、課題として施策が継続しなかったこと、施策間のシナジー効果が乏しかったことがあがった。そこでシナジー効果の追及を行うために、分析のフレームワークである3Cを改良した4Cとマーケティングのフレームワークである4Pを組み合わせ、新たなフレームワークを開発した。そして、新フレームワークに沿って16の視点から施策を策定し、2ndStepでは11個の施策に取り組んだ。フレームワークを活用することによって、施策の見える化を可能になり、漏れなく統合的に施策を策定することができた。

6. 結果や今後の取り組み

我々は1stStepにおいて主に客単価の向上に取り組み、2ndStepでは1stStepの継続に加えて客数の向上に取り組んだ結果、1stStepでは客単価の向上に成功し、2ndStepでは客数の増加に成功した。

我々はこぐれ村に向け、2ndStepを発展させた3rdStepとして今までの施策の継続および、長期的な施策への取り組みによる販売高倍増を提案し、実現に向けて今後も活動を続けていく。そして、この提案をベースとして、生産者主体から消費者主体の「直買所」を提言する。

7. 参考文献

- ・折尾儀治（1998）『改革しない農協幹部は辞表を書け』エール出版社
- ・川野克典（2016）『管理会計の理論と実務 第2版』中央経済社
- ・斉藤修（2013）『JAのフードシステム戦略-販売事業の革新とチェーン構築-』一般社団法人農産漁村文化協会
- ・笹井清範（2017）『POP名人“金”の教え』商業界
- ・島田宏（2015）『全国直売所ガイド1431』株式会社キョーハンブックス
- ・関満博（2010）『農産物直売所/それは地域との「出会いの場」』株式会社新評論
- ・武永昭光（2008）『伊勢丹に学ぶ「売れる！」店作り』PHP研究所
- ・田代洋一（2016）『地域農業の持続システム-48の事例に探る世代継承性-』一般社団法人農産漁村文化協会
- ・築山明德（2005）『売場づくり入門』商業界。・二木季男（2004）『地産地消マーケティング』社団法人家の光協会

- ・JA ファクトブック 2017 2017/2 発行者 JA 全中 編集/作成 (株) 日本農業新聞
- ・世界と日本の食料・農業・農村に関するファクトブック 2017 2017/2 発行者 JA 全中 編集/作成 (株) 日本農業新聞
- ・JA 東京あおば <<http://www.ja-tokyoaoba.or.jp/>> (2017/9/20 アクセス)
- ・JA 全農 (全国農業協同組合連合会) <<http://www.zennoh.or.jp/>> (2017/08/25 アクセス)
- ・農林水産省 <<http://www.maff.go.jp/>> (2017/9/13 アクセス)
- ・のぼり屋さん <<http://nobori-print.just-shop.jp/>> (2017/8/25 アクセス)
- ・都市農業振興基本法のあらまし 農林水産省 (2017/08/25 アクセス)
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/tosi_nougyo/pdf/kihon_hou_aramasi_3.pdf>
- ・農林水産省/「都市農業振興基本法計画」の策定について (2017/08/25 アクセス)
<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nougyou/160513_1.html>

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください